



QRコードから、ぜひ印刷労連のHPもご覧ください。

連合印刷労連 労働相談ダイヤル
 03-5442-0191

全国地方協議会拡大幹事会報告

全国10の地方協議会において拡大幹事会が開催され、それぞれの活動方針が確認されましたので報告いたします。

北海道地協

2022年10月4日(火)に2022年度第1回北海道地協拡大幹事会が開催されました。当日は古賀副中央書記長にも来道いただき、本会議前には構成組織へのオルグ活動を実施いたしました。

今回はアフターコロナでの活動を見据え、リアルとオンラインでの開催となり、古賀副中央書記長からは「印刷労連2022年度運動方針」をご説明頂き「2022年度北海道地協活動方針と予算案」「2022年度北海道地協体制」の確認が行われ、日常の諸課題についての意見交換も行い、久しぶりに各構成組織が顔を合わせることができ、充実した時間と改めて対面での活動の重要性を実感いたしました。

最後に、北海道地協はこれからも様々な働き方に対応しつつ「対面での活動と意見交換」を最重

要テーマとして各構成組織がより良い職場環境となるよう、そして各構成組織を思いやり、温かい地協活動としていく事を確認し2022年度第1回幹事会を終了いたしました。【報告者 鈴木議長】



宮城地協

宮城地方協議会は、2022年10月8日(土)にTKPガーデンシティPREMIUM仙台西口において、第11回目となる拡大幹事会を開催しました。

今年度もコロナ禍においての開催となる為、各組織代表幹事・青年代表のみでの開催となりましたが、2022年度の活動方針(案)・予算(案)などの議題について、確認をいただきました。また、当日は宍戸中央執行委員長にお越しいただき、印刷労連における課題や今後の展望を含め、講話をしていただきました。

引き続き、コロナ禍での活動となりますが、お

互いの課題や取り組みを共有しながら活動をしていきたいと思っております。【報告者 藤井議長】



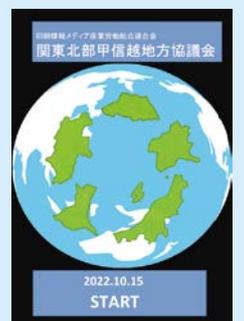
関東北部甲信越地協

2022年10月15日(土)大宮パレスホテルにて関東北部地協第2回拡大幹事会を開催しました。昨年度はコロナの状況もあり、全てオンラインによる幹事会でしたが、今年度は印刷労連の運動方針のもと、リアル開催も増やしていく事を受け、久しぶりの対面での開催となりました(オンラインも併用)。昨年度の改選以来、初めて対面するメンバーもあり、対面での開催に喜びを感じました。

2021年度の活動報告と決算報告、会計監査報告を確認し、今回の重要議題である「長野地方協議会解散および関東北部地方協議会への編入について」全会一致で確認しました。これにより、埼玉、茨城、群馬、長野、新潟という広範囲な、新生「関東北部甲信越地方協議会」が結成されました。幹事会後は結成懇親会も行い、終始和やかなムードで結成を祝しました。

製造中心の北部地協に同じく製造中心の長野地協が編入することで、更なる相乗効果を発揮し、印刷産業の発展と働く人々の幸福の追求を図ってまいります。

【報告者 龍口事務局長】



関東南部地協

2022年10月29日(土)拡大幹事会を開催し、幹事および青年委員会幹事がオンラインにて参加しました。幹事会の前段では昨期から引き続き幹事研修「あすぷりPJT」を実施、「あしたの印刷産業の発展、職場の活性化」を目的にゼミ形式でディスカッションをしました。

本会議の議事では、学習会・交流会各チームでの具体的な取り組み方針、青年委員会活動について審議しました。印刷産業が変革期にあり、各構成組織でも事業再編等の対応を迫られる中、「誰ひとり取り残すことのない活動」を基本に、コロナ禍にあってもオンラインであっても「顔あわせ

心あわせ」で活動することを約束し、閉会しました。
【報告者 川尻議長】



石川地協

2022年10月22日(土)に金沢勤労者プラザにて、第11回総会がおこなわれました。今回も新型コロナウイルス感染症を意識し、参加人数を絞っての開催となりましたが、本部より宍戸中央執行委員長が対面でご参加され、近年のコロナ禍の総会では、最も盛り上がりを見せたものとなりました。

当日の総会では、地協役員からの前年度の活動報告、決算報告、そして、今年度の活動方針、予算案、役員交代等の議案の説明、それに対しての代議員からの質問もあり、十分な審議のうえ、すべて無事確認されました。

今年度も、コロナ禍により活動には制限がかりそうですが、2022年度活動方針の実現を目指

し、地協幹事一同で取り組んでいきたいと思えます。皆さん、どうぞ、よろしく願いいたします。
【報告者 宮岸事務局長】



愛知地協

2022年10月27日(木)、本部より宍戸中央執行委員長、古賀副中央書記長をお招きしAP名古屋にて2022年度の拡大幹事会を開催しました。

前年度は、コロナ禍にあっても幹事会は対面で行い、構成組織間の情報共有など図ってきましたが、全体的な活動は各構成組織指針などもあり、各種イベント・学習会など青年委員会を含め活動が出来ませんでした。今回の拡大幹事会も開催時間のスリム化と感染対策を講じ対面で実施しました。

例年通り、印刷労連の運動方針を元に愛知地協の年間活動計画・予算案などを審議し満場一致で

確認され、無事終える事ができました。

年間活動計画に則り、引き続き情勢を見極めながら地協活動を活性化していきたいと考えております。
【報告者 結野議長】



大阪地協

2022年10月1日(土)、エルおおさか、およびオンラインにて大阪地協第9回拡大幹事会を開催しました。

過去2年はオンラインを中心とした開催が続いていましたが、本年は印刷労連本部から宍戸中央執行委員長にもお越しいただき、23名の参加者に会場で出席いただくことができました。(オンライン参加1名)

過去1年間の活動と今後の活動方針をリアルで集まって確認し合ったことで、今年度1年間活動を進めるにあたっての連帯感が生まれた場となりました。

2022年度の活動方針は「みんなで大阪地協」とし、2年以上に渡り継続しているコロナ禍により

開催できていない、リアルなコミュニケーションや行事を「みんなで」実現していく1年にしたいとの思いを共有し合いました。大阪地協に集う全ての構成組織と組合員に、より多くの参加機会を提供していきたいと考えています。
【報告者 杉山議長】



京滋地協

京滋地協では2022年9月14日(水)キャンパスプラザ京都会場とオンラインの併用にて、京滋地方協議会第9回拡大幹事会を開催しました。当日は京滋地協幹事のほか構成組織代表者と青年委員会も含め14名の参加者となりました。また、印刷労連本部より宍戸中央執行委員長にご来賓としてお越しいただき、ご挨拶をいただきました。

報告事項として印刷労連本部第29回年次大会報告を渡辺幹事、続いて2021年度京滋地協活動報告・会計決算報告・会計監査報告を太田幹事・川端議長・芝池会計監査よりそれぞれ報告し、確認いただきました。

審議事項では「みんなが望む地方協議会活動を目指して」をスローガンとした2022年度活動方針(案)と、予算について川端議長から提案され、満場一致で確認されました。

今回の拡大幹事会では京滋地協青年委員会活動にご尽力いただいた野口大護青年委員(大平印刷労組)と藤井青年委員(凸版印刷労組)が退任され、新たに野口大輔青年委員(凸版印刷労組)が就任されました。

今期も未だ終息しないコロナ禍での活動となりますが、リアルとオンラインのいいところを活用しながらWithコロナの活動へと舵を切り、2022年度も京滋地協らしさを活かしたみんなが望む地協活動となるよう活発に活動していきます。

【報告者 川端議長】



福岡地協

2022年10月29日(土)外部会議室(TKP博多駅前シティセンター)において、2022年度福岡地方協議会第3回拡大幹事会を青年幹事にも出席していただき開催しました。今年もコロナ影響で昨年同様オンラインでの開催になるかと心配されましたが、宍戸中央執行委員長をお招きし、3年ぶりに対面にて開催することができました。

拡大幹事会では、年次大会で確認された運動方針を報告、共有いたしました。さらに、2021年度の福岡地協活動経過報告を行い、2022年度の年間活動計画を提案し、満場一致で確認されました。幹事メンバーからは、色々と課題提起がされ、有意義な幹事会となりました。まだ、コロナの状況が不透明な部分がありますが、さまざまな工夫を凝

らし、皆で協力しながら活動を進めて参ります。

【報告者 馬場議長】



熊本地協

2022年10月29日(土)に熊本地協拡大幹事会を開催しました。昨年度はコロナの状況を考慮し、対面とオンラインのハイブリット形式で行いましたが、今年は地協幹事・青年幹事含め、全員参加の対面方式で幹事会を執り行いました。

総会では宍戸中央執行委員長にも熊本へお越しいただき、冒頭で2022年度の運動方針をご説明いただきました。方針説明の中で『政治には無関心ではいられるが、無関係ではいられない』という言葉が特に印象に残りました。この言葉は行政に対しても、また組合活動に対しても当てはまるワードであり、全員が真剣に耳を傾けていました。

その他、2021年度の決算報告・会計監査報告、2022年度の役員体制・一般会計予算など、前期実績報告と今期計画を報告し、全員一致での可決となりました。

最後に、宍戸中央執行委員長を含め熊本地協幹事全員での撮影会を行い、団結を深めた中での拡大幹事会閉会となりました。

【報告者 宮田議長】



連合2022中央女性集会報告

2022年10月21日(金)、東京ビックサイトにおいて2022連合中央女性集会が3年ぶりに集合型式(オンライン併催)にて開催されました。集会には対面435名、オンライン642アカウントの参加となり、印刷労連からは対面4名、オンライン4名計8名が参加しました。

集会は、「ジェンダー主流化で女性の意思決定プロセスに~平等で格差のない社会をめざそう!~」をメインテーマに、冒頭主催者を代表して連合・芳野会長より、「連合は運動方針に意思決定過程への女性参画を促進し、その影響評価を行いながら政策などに反映していく『ジェンダー主流化』を掲げている。連合のすべての取り組みに、社会的・文化的につくられた性差にもとづく偏見や差別を解消し、多様性を認め合うジェンダー平等の視点を取り入れることが必要であり、引き続き積極的に取り組みを進めていく。」と挨拶がありました。

次に、連合・井上総合政策推進局長から、「『ジェンダー主流化』で女性を意思決定プロセスに」として、「ジェンダー平等・多様性推進をはじめとして、一人ひとりが尊重された『真の多様性』が根付く職場社会の実現」と、連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ1をもとに基調提起があり、「ジェンダー平等実現のためには労働組合が率先して取り組む必要がある。みんなで更なる変革と挑戦で大きなうねりを作りたい」と述べられました。

基調講演では、毎日新聞の佐藤論説委員による「『オッサンの壁』を壊すには~多様性と無意識のジェンダーバイアス」について自身の経験も含めてお話があり、続いて、連合・清水事務局長のコーディネーターにてパネルトークセッション「オッサンの壁とクミジョの壁・崖~日本の男女間格差と世界の潮流203050~」が行われました。

最後に、集会アピールが満場の拍手で採択され、連合・山中副会長の閉会挨拶をもって締めくくられました。

印刷労連においては、2022運動方針の一つの柱として、「男女平等参画・ジェンダー平等の推進」を掲げており、まずはプロジェクト設置に向けて進めております。印刷労連の男女平等参画を一步ずつ確実に進めるべく、引き続き積極的に取り組んでまいります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【報告者 古賀初代】



【会場にて】3年ぶりの会場出席でした



【zoomにて】オンライン・会場出席者が全員集合しました

ろうきんは組合員のみなさまのニーズに届えるために生活や家計をサポートする生活応援運動を展開し労働組合の自主福祉活動をバックアップいたします

労働組合

組合員の社会的・経済的地位の向上

- 組合員の生活・労働条件の向上と雇用の安定
- 組合員とのコミュニケーション強化

ワークライフバランスの実現

セーフティネットの構築

組織の強化と拡大

ろうきん

生活応援運動

- はたらく人の生涯にわたるライフイベントのサポート
- 金融商品・サービスに関する消費者教育
- 計画的な貯蓄・運用による資産形成の提案

生活設計

生活防衛

生活改善

お近くのろうきんのウェブサイトはこちらから

2022年10月19日現在

「たすけあいの輪をむすぶ」

こくみん共済 coop は、次のステージへ

公式キャラクター ピトくん

こくみん共済	団体生命共済
火災共済	自然災害共済
総合医療共済	せいめい共済
マイカー共済	自賠責共済
交通災害共済	新セット移行共済

こくみん共済〈全労済〉

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済」は福利を目的としない福利の生涯として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

— 編集後記 —

2022年もいよいよ年の瀬に差し掛かってきました。この1年も何かと新型コロナウイルスに振り回されたように思います。さて、今号では、各地方協議会の総会にあたる拡大幹事会について掲載いたしました。先の第29回年次大会で確認された運動方針のもと、各拡大幹事会で確認された活動を着実に実行していくことが、職場・組合員のより豊かで充実した生活に繋がるものと確信しております。印刷労連に集う一人ひとりが一体感をもって取り組んでまいりましょう。 【教育広報委員 藤原隆之】